

ロシア・ユーラシア研究コース／ヨーロッパ研究コース「演習（ロシア政治・外交）1・2」の概要

担当教員 ロシア語学科・上野 俊彦

1. 「演習（ロシア政治・外交）1・2」の目標

演習参加者の一人ひとりが、ロシア社会に関連する特定の研究テーマを自由に設定し、演習担当教員の指導を受けながら、自身で調査・研究を実施し、演習での中間報告・討論を経て、最終的に卒業論文またはレポートを作成します。この作業を通じて、ロシア社会についての理解を深めるとともに、社会事象の研究・調査・分析のための技法を修得し、理論的な文章を作成する能力を養います。

以下に示す 2016 年度演習参加者の個人研究テーマに見られるように、演習参加者が選択する研究テーマはさまざまです。

2016 年度演習参加者の個人研究テーマ

◆BA「帝政ロシアとソ連の民族政策－ロシア化による民族主義の高揚－」 ◆IA「原油からみるロシア、アメリカ、サウジアラビア－アメリカシェールオイル革命による変化－」 ◆IS「北方四島交渉の推移と今後」 ◆OT「ロシア極東の人口配置」 ◆TR「ロシア国内の外国人移民問題解決のヒント－対中脅威論を中心に考える－」

2. 「演習（ロシア政治・外交）1・2」の授業の進め方

授業は、教員が行う(1)講義、ならびに参加者が行う(2)作業および(3)報告の3つの部分から構成されます。

(1) 講義

①レポート・論文の書き方 ②ロシア政治・外交の特定のテーマ

(2) 作業

①横手慎二編著『ロシアの政治と外交』（NHK出版、2015年、2500円）の輪読

②特定のテーマに関連する報道・資料の収集と講評資料の収集・訳読

ロシア政治・外交の特定のテーマに関連する報道を収集し、訳読（ロシア語資料の場合）、講評、討論

ロシア政治・外交の特定のテーマに関連するロシアの法律その他の公文書、政治家の演説等の資料を収集、訳読

(3) 報告

参加者が選んだ研究テーマに沿って調査・研究を行い、卒業論文・レポートの作成に取り組み、随時、その中間報告を行います。

【スケジュール】

5月11日（予定）ゼミ論・卒論のテーマ（案）と目次（案）の提出

6月15日（未定）参考文献表の提出

6月22日（未定）ゼミ論・卒論中間報告

6月29日（未定）ゼミ論・卒論中間報告

7月6日（未定）ゼミ論・卒論中間報告

9月22～24日（未定）ゼミ合宿研修（ゼミ論・卒論中間報告）

3. ゼミ合宿

日露関係史跡見学を兼ねて、日露和親条約締結のため来日したプチャーチン以下のロシア使節が半年近く滞在したことから日露友好発祥の地となった静岡県沼津市戸田（へだ）で、2泊3日の合宿研修を実施（2泊4食14,000円、交通費は東京から約6,000円）し、修善寺ハリストス正教会顕栄聖堂、戸田造船郷土資料博物館、ロシア使節団幹部宿泊先となった宝泉寺などを見学するほか、卒業論文・レポートの中間発表を行います。OGOBにも参加を呼びかけます。